

放課後等デイサービス ファミリールームりぼん

集計：2024年(令和6年)分 公表：2025年(令和7年)

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

配布数：7 有効回答数：7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	7	0	0	・宿題をする時間、公園や散歩の時間を組み合わせながら、スペースを確保できるよう配慮している
	②	職員の配置数は適切であるか。	7	0	0	・人員配置は資格等確認の上、適切に配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	0	7	0	・現時点では重度障害児に対応していないため、バリアフリー化ではないが今後変更がある場合は対応していく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	0	・月に1回職員会議を行い、子どもたちの振り返りを行っているため今後も続けていく
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5	2	0	・年1回の保護者アンケート、また保護者会などでの意見内容を周知し、今後の改善につなげていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7	0	0	・ホームページ、コドモンでの公表を行っていく
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	0	・第三者評価については改める
非常時等の対応	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	2	0	・以前と比べたら研修の場が多くなったため積極的に参加をしていく
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	0	・半年に一回の支援計画見直しの際、保護者面談を行い、支援内容を話し合っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	1	0	・児童が他病院等で行った検査結果の報告書を頂き、適応行動の状況把握に努めている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	0	・役員交代後、役割を分担、最終決定は話し合いで決めている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	0	・子どもの成長に合わせて随時内容を検討し、決定している。内容も試しながら働いている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	4	3	0	・行っている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	0	・作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4	0	3	・支援開始前に当日の内容を連絡で周知、引き継ぎ内容の確認、前日の様子などは就業記録、口頭で話し合いをしている
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	1	・その日に気になったことや、注意が必要な場合は記録に記載し全員が確認できるよう掲示している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	0	・記録方法や掲示方法を変更しながら全員が把握しやすいよう心がけている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	5	2	0	・行っている
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	0	・不十分などところもあるため改善に努める	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
関係機関 や保護者 との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6	1	0	・行っている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	0	・以前よりトラブルは少なくなっている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	1	5	1	・医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	0	・書類でのやり取りや電話等で連携を図っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	0	・行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	6	1	0	・研修を受け、その内容については支援会議等で共有している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	7	0	0	・児童館との交流が深く、参加することもあるが下校時間を考えると長い時間滞在は難しい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	1	・できる限り参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	0	・送迎時や連絡帳にて伝えている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	5	2	0	・ご相談をしやすい状況や環境作り、子どもへの対応の仕方についてお互いに相談し合える関係を築いていきたい
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、紫煙の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	5	1	・行っている
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	1	0	・職員と保護者との連絡のやり取りで受け取り方や見解に相違が出ないように十分に気を付けて行っていく
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	6	1	0	・年に1回の保護者会にて、親子の交流の場と親の交流の場、意見交換をできるような場を設けている
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	・問題が生じた場合の迅速な対応、フローチャートの作成を行っている
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	・毎月発行している
	㉕	個人情報に十分注意しているか。	7	0	0	・行っている
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	3	0	・コドモンと会報がメインのため、保護者様と直接やり取りができる機会が設けていけるよう、機会の場を増やしていく。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	0	・お知らせを配布し招待している
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	2	0	・全て十分に周知・理解できているとは言えないため、随時内容も見直し、改正していく
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	・毎月行っている ・避難訓練は定期的に行っている
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	0	・虐待に関する研修は行っており、職員間でも共通理解ができるようにしていく
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	0	本当に必要かどうか十分に検討した上で保護者と相談をし、必要な場合には個別支援計画に記載を行う
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	7	0	0	・職員会議等で共有している
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	2	0	・記録が不十分などところもあるため、作成していく